

瀬本永野式夜間装具を用いた特発性側弯症の治療

一般財団法人近江愛隣園 今津病院 小児・側弯センター
瀬本 喜啓 Yoshihiro Semoto

大阪医科大学 整形外科学教室
藤原憲太

有限会社 永野義肢
永野 徹、金崎秀徳、宮部昌洋、永野宏佳



【目的】

今回我々は、瀬本永野式夜間装具（SNNB）により治療を行った特発性側弯症について、装具脱後1年以上経過し、弯曲の改善が得られた4例を報告する。

【対象】

- | | |
|----------------|-------------------------|
| 1) 治療開始時年齢 | 11歳8か月～14歳9か月（平均13歳7か月） |
| 2) 平均Cobb角 | 23度～39度（平均28.8度） |
| 3) Risser sign | 全員3未満 |

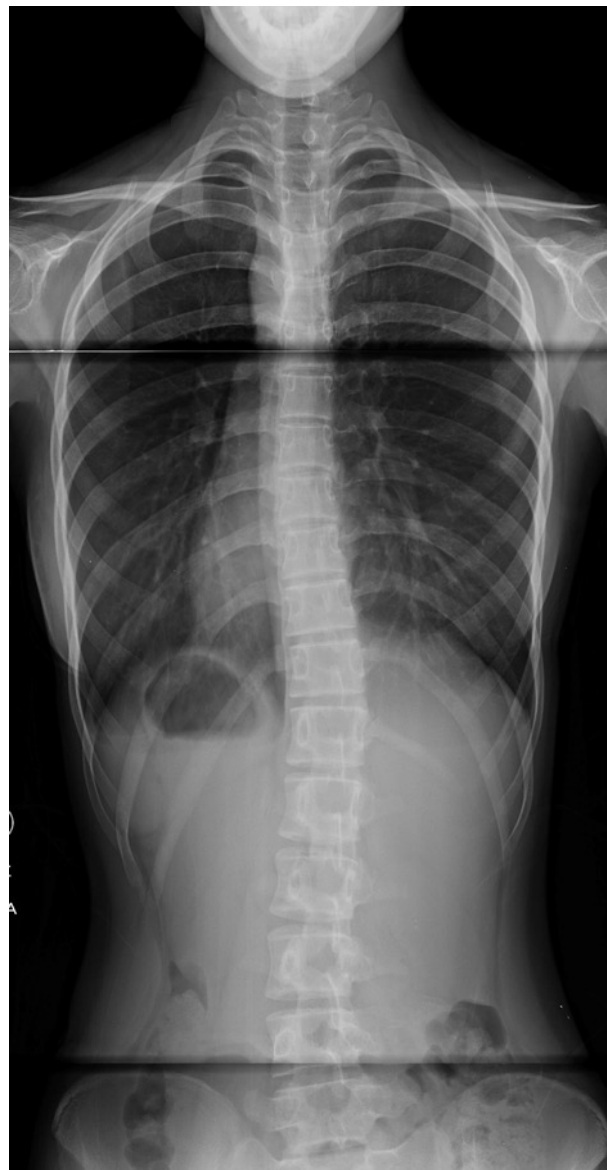
【結果】

- | | |
|----------------|--------------------------|
| 1) 調査時平均年齢 | 15歳1か月～17歳11か月（平均16歳7か月） |
| 2) Risser sign | すべて5 |
| 3) 装具脱後期間 | 12か月から24か月（平均15.5か月） |
| 4) 調査時弯曲改善度 | 6度～14度（平均9.8度） |
| 5) 装具装着時間 | 約7時間 |

症例1

装具前
12歳1か月
Risser 3

23度



装具脱後
12か月

16歳10か月
Risser 5

17度

症例2

装具前
14歳4か月
Risser 3

30度



装具脱後
24か月

17歳11か月
Risser 5

18度

症例3

装具前
14歳2か月
Risser 3

39度



装具脱後
12か月

16歳8か月
Risser 5

25度



症例4

装具前
11歳8か月
Risser 3

23度



装具脱後
14か月

15歳1か月
Risser 5

16度

【考察】

夜間装具では治療効果が得られないのか？

米国整形外科学会の委員会が1941年に出した遠隔治療成績では、矯正されていた彎曲は、装具をはずすと完全にもとにもどったと報告されている。また一般に全日（24時間）装具に比べて夜間装具は装着時間が短く、彎曲の進行予防効果は劣ると考えられている。

今回、瀬本永野式夜間装具で治療を行った4例は、装具をはずした1年後の時点で彎曲は元に戻ることはなく、彎曲の改善状態を維持した。

これは他の夜間装具が側方への過度の屈曲により彎曲を矯正する装具であるのに対し、われわれの装具はギプスの原理を応用し、ねじれの矯正を重点的に行っているためではないかと考えている。さらに、重力の影響が少ない臥位での矯正は、比較的強い矯正力をかけても痛みを伴うことが少ない。

現在まで250例の瀬本永野式夜間装具（SNNB）を作成し、手術までの待機用、前日装具ができない患者に対する救済用装具、昼間装具との併用などさまざまな目的で使用してきた。

今後、学校への装着という患者の精神的苦痛を伴わないことにより、彎曲の軽度な患者にも対象を広げ、症例を重ねたいと考えている。

【結語】

瀬本永野式夜間装具を用いた治療により、彎曲を改善することができた症例を示した。

